

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、2018 年度日本陸上競技連盟競技規則、競技会における広告及び展示物に関する規程及び本競技会の申し合わせ事項により実施する。

2. 参加校受付は、以下の期日、時刻、場所で行う。

期 日	受 付 時 間	受 付 場 所
6 月 14 日(木) 【大会前日】	15:00~17:00	競技場正面玄関前
6 月 15 日(金)~17 日(日) 【大会期間中】	各日 開門時刻~閉門時刻	インフォメーション・センター

※インフォメーション・センターは、正面玄関前に設置する。開門時刻・閉門時刻については、別紙【申し合わせ事項 1. 開閉門時刻について】参照。

3. 練習について

別紙【練習に関する注意事項】を参照。

4. 各種書類について

大会期間中の各種書類の配付及び提出の窓口については、次のとおりとする。

書 類 名	配付場所	提出先・依頼先
不 出 場 届	インフォメーション・センター及び招集所	招集所
重 複 出 場 届		
記 録 証 明 書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター
第4位から第8位までの賞状	インフォメーション・センター	

5. 招集について

(1) 招集所は、マラソングート付近(ホームストレート側スタート地点付近)に設置する。なお、棒高跳の招集は競技実施場所(バックストレート側ピット)、ハンマー投の招集は東海大学湘南校舎陸上競技場で行う。

(2) 種目別の招集開始及び完了時刻は、プログラムの競技日程に記載のとおりとする。

(3) 招集の方法は、次のとおりとする。

- ① 招集時刻に招集所で競技者係から当該種目に出場する競技者本人が点呼を受ける。その際、ナンバーカード及び商標等の点検を受け、トラック競技においては腰ナンバー標識を受け取る。
- ② 同時進行種目への出場競技者は、あらかじめ「重複出場届」に必要事項を記入し、招集所(競技者係)に提出する。
- ③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目を欠場したものとみなす。
- ④ 欠場者が人数により、レーンを変更し競技を実施することがある。

6. 不出場(棄権)について

やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で「不出場届」を提出する。

(1) 6月13日(水)までは、本連合HP(<http://www.iuau.jp/>)に掲載してある「不出場届」に必要事項を記入し、FAX(03-5304-5569)で提出する。

(2) 6月14日(木)は、参加校受付に用意してある「不出場届」に必要事項を記入し、参加校受付で提出する。

(3) 6月15日(金)以降はインフォメーション・センター及び招集所に用意してある「不出場届」に必要事項を記入し、招集所(競技者係)に提出する。どうしても招集所(競技者係)に提出できない場合は、FAX(03-5304-5569)で提出する。

7. ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、参加校受付の際に1名につき2枚配付する。

(2) ナンバーカードは、そのままの大きさと胸と背に確実につける。

ただし、跳躍種目に参加する競技者は、胸、または背だけでもよい。

- (3)トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識(1枚)を招集時に配付する。ただし、100m、200m、100mH、110mH、5000m及び10000mWに出場する競技者には、腰ナンバー標識を2枚配付する。
- なお、腰ナンバー標識はレース終了後にフィニッシュ付近にて回収する。
- (4)ナンバーカードの布地及び数字の色は次のとおりとする。
- ・男子 『黄色地×黒数字』
 - ・女子 『ピンク地×黒数字』
 - ・5000m及び10000mW 『オレンジ地×黒数字』
- *5000m及び10000mWで使用する特別ナンバーカードは、参加校受付の際に1名につき2枚配付する。また、招集は特別ナンバーカードをつけた状態で行う。
- ・ハンマー投 『白地×黒数字』
- *ハンマー投に使用する特別ナンバーカード(白地×黒数字)は競技実施日(16日)に東海大学湘南校舎陸上競技場にて配付する。その際、受付時に配付したナンバーカードも持参すること。招集は特別ナンバーカードをつけた状態で行う。

8. 用具について

- (1)棒高跳用のポールは、各自が持参したものを使用する。
- (2)その他の競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、個人所有の投てき物の使用を希望する場合は検査を受け、使用許可を受けなければならない。
- (3)個人所有の投てき物を使用する場合、競技開始時刻の2時間から1時間前までに検査を受ける。検査を経て合格した投てき物に、主催者の用意するシールを貼るので、競技終了まではがさない。この場合、個人所有の投てき物については一時的に競技場備品としての扱いとなるので、他の競技者との共用になる。また、返却は当該種目の競技終了後に返却場所にて行う。

検査場所及び返却場所については次のとおりとする。

用具	検査場所及び返却場所
砲丸、円盤及びやり	Shonan BMW スタジアム平塚 用器具庫
ハンマー	東海大学湘南校舎陸上競技場 競技実施場所

- (4)個人所有の用具の破損に関して、主催者側は何ら責任を負わない。

9. 競技について

- (1)トラック競技について
- ①トラック競技における招集完了後の練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 - ②参加人数により、予選・準決勝を行わない場合がある。
 - ③短距離種目については、スタート・インフォメーション・システムを使用して競技を行う。
 - ④100m、200m、100mH及び110mHは、気象状況によりバックストレートで実施する。
 - ⑤100m、200m、100mH、400mHでは、人数により9位決定戦を行う場合がある。
 - ⑥短距離種目では、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。
 - ⑦800m予選においては、競技運営の都合上、1組8人を超えて競技を行うことがある。その場合は、8レーン・7レーン・6レーンの順に2人ずつレーンに入る。
 - ⑧男女5000m、男女3000mSCの決勝は、タイムレースとする。
 - ⑨5000m及び10000mWでは、気象状況により給水を行う。
 - ⑩5000m及び10000mWにおいては、周回の確認のため、トランスポンダー付きの腰ナンバー標識を左側に着用する。
 - ⑪10000mWにおいては、競歩審判主任による単独失格権限ルール(第230条4.(a))を適用する。

(2) フィールド競技について

- ①フィールド競技における招集完了後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ②棒高跳の練習は、ゴム製バーを用いて行う。走高跳の練習は、通常のバーを用いて行う。
- ③走高跳及び棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m13	2m16	2m19	+ 3 cm
	女子	1m60 1m69	1m64	1m69	1m72	1m75	1m78	
棒高跳	男子	5m00 5m30	4m80	5m00	5m10	5m20	5m30	+ 5 cm
	女子	3m50 3m80	3m30	3m50	3m60	3m70	3m80	

- ④投てき競技の競技場内での練習は、1回につき30秒以内とする。
- ⑤投てき競技の計測は、光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投の計測は鋼鉄製の巻尺を使用する。
- ⑥ハンマー投は、東海大学湘南校舎陸上競技場で行う。

(3) 競技結果と番組編成について

- ①競技結果及び準決勝以降の番組編成リスト等は、正面玄関前に掲示する。
- ②タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者がいる場合は、写真判定員主任が0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は、当該の競技者または代理人による抽選とする。
- ③競技結果等は記録処理終了後、随時、日本学連携帯サイトにて発表する。

日本学連携帯サイト <http://www.iuau.jp/i/> (大会プログラム表紙のQRコード参照)

(4) その他

競技規則を厳格適用するので、第145条2及び第162条5の適用により警告を2回受けた競技者は失格となり除外処分対象となるので、この競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。

10. 抗議と上訴について

競技結果の正式発表時間は大型スクリーンに発表された時間を基準とする。

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が大型スクリーンに発表されてから、競技規則に定められた時間内にその競技者または代理人がインフォメーション・センターに申し出る。その後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。さらに、この裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通してジュリーに文書で申し出る。

なお、抗議については、第146条4〔国際〕5〔国際〕を適用し、競技エリアで競技者本人から当該、審判長が抗議を受け付け、裁定する場合がある。

11. ドーピング・コントロール・テストの実施について

ドーピング・コントロール・テストは、日本アンチ・ドーピング機構及び日本陸上競技連盟の規則に従い実施する。ドーピング・コントロール・テストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受ける。

また、禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は治療使用特例(TUE)の申請を行うこと。

12. 別紙【申し合わせ事項5.表彰について】を参照。

13. その他

- (1) 「競技会における広告及び展示物に関する規程」の基準を超える商標についてはテープ等で隠すか、係員の指示に従うこと。(この大会では競技中のみ。)
- (2) 携帯電話やビデオ装置等の機器は競技場内への持込みは禁止であり、違反した場合は助力を受けたものとして警告・失格の対象となる。
- (3) スタートとフィニッシュの場所が異なるトラック競技では、招集所で配付された袋に入れられた衣類等をフィニッシュ地点付近まで運搬する。
- (4) 競技終了後、必ずミックスゾーンを通過し、主催者が許可した報道関係者の取材を受けること。また、表彰式終了後もインタビューを受けることがあるので協力すること。
- (5) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。盗難及び紛失に関しては、一切の責任を負わない。なお、大会期間中に主催者に届けられた物品等については、一時的にインフォメーション・センターにて保管する。
- (6) 競技中に発生した傷害及び疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2018年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
なお、インフォメーション・センターにおいて、スポーツ安全保険の事故報告書を配付する。
- (7) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。
手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡する。
- (8) 競技運営や練習に関すること以外での芝生への立ち入りは一切禁止する。
- (9) その他、不明な点は、インフォメーション・センターに問い合わせる。